

新基地辺野古の建設が始まって1年、 “必ず止める”決意で!

長良支部



4月23日～28日は「辺野古ゲート前連続500人集中行動」でした。私達9名は25・26日と参加。毎日700～800人が参加し、辺野古ゲート前の座り込みは機動隊・警察・警備会社に取り囲まれ、「ごぼう抜き」が力づくで行われ、殺気立ち、逮捕者もでました。前名護市長の稲嶺さんも参加しましたが強制排除。私達仲間3人も「檻」の中に装甲車の排ガスを浴びせかけられながら(嫌がらせ)、2時間近く滞留。結局多くのトラックが砂利の搬入をし、この6日間で1068台。又「海上座り込み」にも参加。船上からは護岸工事の様子や辺野古基地の全体が見えます。私たちはエメラルドグリーンの海とサンゴ礁に感動しながら、砂利をガラガラと海に投入する音が耳に響き、悔しさがこみ上げてきました。カヌーで抗議の人が海上保安官に次々と拘束されるのを目の前でみて、敵は誰なのかを見失う思いでした。「海を壊すものを守り、海を守るものを取り締まる。逆ではないか」、「絶対にあきらめない」と怒る人々。これだけ強権的な手段を使い、多額な税金投入して我々を排除する行為は本当にひどい。もっと多くの人にこの怒りの現実を知ってもらいたいと思う。秋に3回目を予定しています。皆さん沖縄にいきましょう!

長良支部 齊藤 恵津子

総会を、開きました。

藍川支部



寸劇風景

4月のおしゃべりランチ会終了後に、友の会の藍川支部総会をしました。友の会本部から、ごあいさつをいただきました。

今年の総会は、『ほっとはうす』と民医連活動を何とか知っていただこうと思い、方針案の裏面に民医連綱領をつけました。「安心して住みつづけられるまちづくり」を大きく掲げている綱領、毎日の活動は、全国、そして岐阜の民医連とつながっている事を確認しました。

さて後半は、とっても楽しい総会で、各種クラブが日頃の作品を披露したり、クラブ紹介したりしました。最後は、お楽しみ会のビンゴ大会。とっても運のいい人はいるんですね。今年度の始まりは、とても楽しい総会からでした。

大塚 和子

健康マージャンサークルが発足!

芥見・岩支部(準)

「日本の世帯数の将来推計」によると22年後の2040年には、全世帯の約4割が一人暮らしになるといわれており、地域での交流を促す取り組みは待ったなしです。「友の会」芥見・岩支部(準)では、地域公民館を拠点にして、多様で多彩なサークルづくりの活動を進めています。

3・4月期「健康マージャンをはじめませんか」をテーマにした「健康座談会」案内は「芥見地区社会福祉協議会」の協賛をいただき各家庭に届きました。

和光町・諏訪山・地頭方南では、超高齢社会が進む中、「つながり」の大切さを学び、サークル発足の運びとなりました。

「みどりの家」では1年前からヨガサークルやビデオを見る会も行っています。

戸崎 光明



華陽の絵手紙サークルの紹介、あらためて。

華陽支部

診療所玄関に入ると、そこにはサークルメンバーの絵手紙が展示してあります。時折、みんなが足を止め眺めています。2007年に結成。

顔ぶれは時と共に変わりましたが講師の森さん中心に、メンバーは常に7、8名で月に2回火曜日の定例開催。まず、みんな来ると互いの顔見て安心。講師が準備してくれたモデルの季節の花々、野菜など描く。一瞬の静寂がながれ、それぞれが1・2枚書き終えたところで賑やかにお茶の時間。互いの絵の上手下手は言いっこなし。楽しいお仲間時間を共有する事が、長続きの一つのようです。



最近になり、高齢を理由に辞めたいという講師の申し入れに、何よりいつも笑顔で温かムードの森さんいなくてはサークルなどあり得ないとみんなで懇願し、存続できることになりました。いましばらくは絵手紙コーナーも安泰という事で。めでたし、めでたし。

竹内 みはる



健康友の会サークル「碧山歩会」への会員募集

みどりさんぽかい



「碧山歩会」の会員数は40名を超える時代もありましたが、現在では29名(平均年齢69歳)となってしまいました。月二回の定期山行(安全ハイク)で、一回10名前後が参加しています。年会費は3,000円です。是非、入会して一緒に山歩きを楽しみませんか。連絡先: 河村(090-6615-2999)又は、宮田(090-3968-1508)まで。

写真は2017年6月4日の白草山での集合写真とその行きにも帰りにも出会った幸福の青い鳥(オオルリ)です。

宮田 町子

